

## 会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成21年度第3回定例会
開催日時	平成21年11月19日（木曜日）午後1時から3時まで
開催場所	中央図書館会議室
出席者	委員：浅野委員、一方井委員、吉田豊委員、服部委員、鈴木委員、小西委員、大澤委員、吉田順一委員 事務局：小池館長、山川庶務係長
傍聴者	0名
議題	1 事業評価の方法について4 2 その他
会議資料の名称	1 図書館の自己評価、外部評価及び運営の状況に関する情報提供の実態調査報告書（平成21年3月）抜粋 2 図書館の自己評価、外部評価及び運営の状況に関する情報提供の実態調査報告書（平成21年3月）について
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>会長：</p> <p>時間になりましたので、図書館協議会第3回定例会を開催します。前回の会議録について意見、修正等ありますか。特になければ承認ということで本日の会議を始めます。本日は前回に引き続いて事業評価について、最初に小西委員からレポートの説明をしていただきます。</p> <p>委員：</p> <p>前回の協議会で、『図書館の自己評価、外部評価及び運営の状況に関する情報提供の実態調査報告書』（2009年3月）について、わかりやすく説明してほしいと依頼されましたので、今回概要をレポートにまとめましたので、それに基づいて説明します。</p> <p>この報告書は、今年3月に発表されたもので、文部科学省がみずほ情報総研株式会社に委託した事業です。</p> <p>報告書は全部で170ページ以上になり、内容は「はじめに」「第1章 図書館評価を巡る動向」「第2章 実態調査 アンケート調査結果」「第3章 事例調査報告 自己評価・外部評価・情報提供に関する事例」「第4章 図書館の自己評価、外部評価及び運営の状況に関する情報提供の状況」で構成されます。</p>	

「はじめに」では、調査の背景・目的として、2001年7月に「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が制定され、評価に関心が持たれるようになり、その後2008年6月に図書館法の一部改正で、図書館の運営の状況に関する調査及び情報提供の努力義務規定が設けられた。従来の図書館評価については、研究はたくさんあったが、図書館として行政評価の一部として実施し、自己評価・外部評価もあったが、図書館としてまちまちであった。今後、評価をするためのガイドライン策定の必要性が背景としてあるとしています。調査の実施概要は、1.文献調査、2.実態調査（アンケート調査）、3.事例調査（ヒアリング調査）で、今回説明するのは、主として2.のアンケート調査です。

第1章 図書館評価を巡る動向では、第1節 図書館評価に関する動向で、“評価”は時代の流れであったとし、図書館評価関連の動きとして、1998年「図書館パフォーマンス指標」（ISO11620）で国際的な評価基準が定められたこと、2001年7月の「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の制定、2006年3月「これからの図書館像」で文部科学省で評価の必要性が高まってきました。

第2節 図書館評価の方法では、評価の目的・目標として、「具体的に図書館の何を何のために評価しようとしているのかを明確にする」こと、評価の最終目標は、図書館法第2条で要請されている項目1.資料の収集・整理・保存の取り組み、2.一般公衆の利用に供するための取り組み、3.教養、調査研究、レクリエーション等に資するための取り組み、4.これらに付随する取り組み、に沿った運営がなされているかどうかを点検・評価することとされています。

評価主体には、自己評価、外部評価（外部評価、第三者評価）、行政評価の一環があります。

評価方法には、時系列比較（日報、月報その他の帳票類に基づく比較分析）、ベンチマーク比較（他の類似図書館との比較分析）、絶対評価等があります。

評価指標、評価結果の活用と続きます。

第2章 実態調査報告 アンケート調査結果では、第1節 アンケート調査の概要で、1 アンケート調査の目的を「今後のガイドライン策定及び図書館評価の基礎的資料」とし、2 アンケート調査の実施方法、3 回答のあった図書館の属性について述べ、第2節 図書館の自己評価・外部評価の実態で、1 自己評価・外部評価への取り組み状況、2 自己評価・外部評価の概要について述べています。

以上説明した内容で、現代の公立図書館界で強調されている評価の流れはこんな感じだというのが伝わったでしょうか。

会長：

情報として、先日東京で開催された全国図書館大会の、図書館評価分科会で、館種別の事例報告がありました。公共図書館については、日本図書館協会に調査委員会があり、「公共図書館の評価項目一覧表」（案）が出されています。評価委員会には、西東京市図書館職員も委員として参加しています。

説明について質問・意見はありますか。

委員：

評価項目の中に、図書館の将来を問うような質問がないように感じます。

館長：

昨年策定した「西東京市図書館基本計画・展望計画」で図書館の将来像を描いています。それに基づいて事業評価をどうするかという流れにあるということを理解していただきたいと思います。。

会長：

今日の話を整理してまとめて本題に結びつけるようにしたら良いと思います。  
続いてその他について、館長からお願いします。

館長：

平成22年度当初予算原案について、昨日、教育部長ヒアリングが実施され、予算の概要と図書館として平成22年度に重点を置く予算について、主な要求を説明しました。

会長：

本日の協議会はこれで終了いたします。11月26日（木曜日）に葛飾区立中央図書館の見学を予定していますので、参加する委員は、午後2時20分に現地集合ということ  
でよろしく申し上げます。